

平成25年度決算

→ 上下水道局のお財布事情をご紹介します



上 水道事業

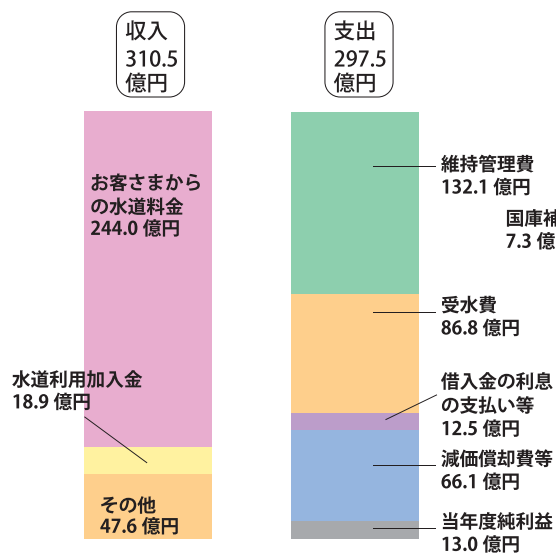
水道は都市の基幹施設であり、これまで、安全で良質な水を安定して供給してきました。水需要については人口が年々増加しているものの、家事用等の使用では節水型社会構造への変化から微増傾向にあり、大口の使用では産業構造の変化により減少傾向にあるため、水需要全体で見るとほぼ横ばいで推移しています。

また、近年、給水能力と配水量にかい離が生じていたため、平成18年度から、浄水場の統廃合を含めた再構築計画に取り組んでおり、併せて基幹施設の更新や老朽化した管路の適切な維持管理及び更新を行い、東日本大震災を踏まえた更なる水道施設の耐震化にも取り組んできました。一方、財政面では、行財政改革などによる経費節減を推進したことにより、当年度純利益を計上しましたが、再構築計画が本格化していることから、単年度資金不足額が生じたため、累積資金の活用により対応しました。

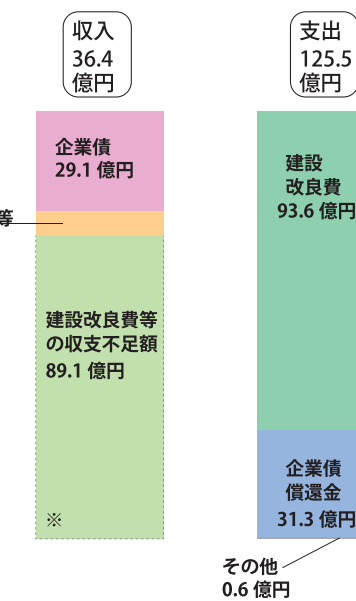
今後も建設改良事業を推進していくことから、累積資金の活用と経営の効率化を推進してまいります。

また、再構築計画に基づく取組を進める中、これまで進めてきた行財政改革が計画を上回る効果をあげていることから、平成22年度から実施している水道料金の特例措置（1か月あたり50円の水道料金の軽減）を継続しています。

水道事業の運営に関する収入と支出



水道施設の建設改良等に関する収入と支出

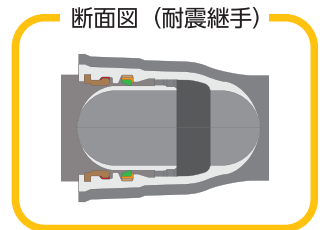


【建設改良費の主な使い道】

老朽化した水道管の耐震化や更新 約 43.4 億円
再構築計画に基づく浄水場等の再構築 約 30.1 億円
鷺沼配水池の耐震補強 約 2.6 億円

【水道管の耐震化について】

過去の震災において、水道管の接続部分（継手）に大きな被害が発生したことを踏まえ、水道管の更新時に、接続部分が屈曲、伸縮する水道管に更新し、耐震性を強化しています。



※ 建設改良費等の収支不足額は、減価償却費や累積資金などでまかっています。

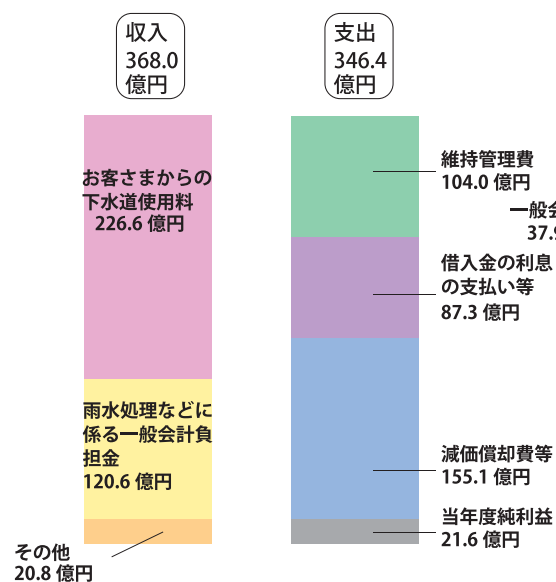
財務課[水道経理] ☎ 044-200-3106 FAX 044-200-0376

下 下水道事業

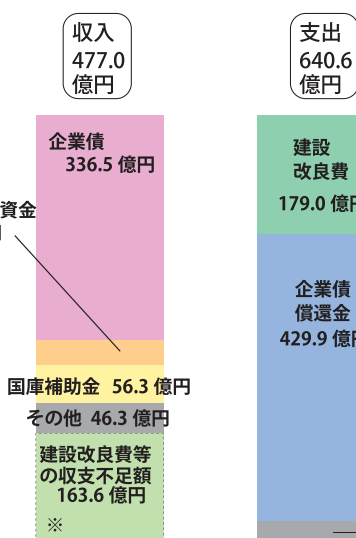
下水道は、快適な生活環境の実現と公共用水域の水質保全及び雨水排除等のために欠かせない基幹施設であり、下水道機能の維持向上を図るため老朽管が多い川崎駅以南の管きょや水処理センター・ポンプ場などの維持管理と更新、また、東日本大震災を踏まえた耐震化など、優先順位や重点化を配慮した建設整備に取り組んできました。

一方、財政面では、これまでの事業運営の効率化などにより、当年度純利益を計上しましたが、過去の建設投資の影響により、いまだ企業債償還金残高が高い水準にあり、依然として厳しい財政状態にあることから、今後も引き続き経営の自立に向け、より一層の経営の効率化を推進してまいります。

下水道事業の運営に関する収入と支出



下水道施設の建設改良等に関する収入と支出

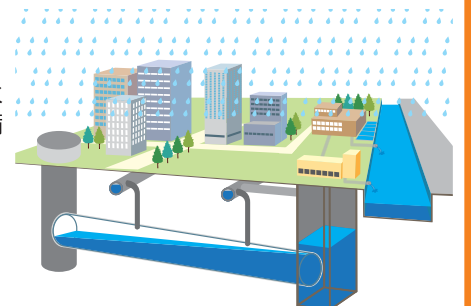


【建設改良費の主な使い道】

川崎駅以南の地域の重要な管きょや水処理センター・ポンプ場の地震対策 約 26.3 億円
川崎駅以南の地域の老朽管の再整備、水処理センター・ポンプ場の再構築・長寿命化・更新 約 37.6 億円
浸水対策や大師河原貯留管などの整備 約 37.2 億円

【浸水対策等の取組について】

大雨時等に備え、一時的に雨水を貯めておく貯留管などの整備を進めています。



※ 建設改良費等の収支不足額は、減価償却費や累積資金などでまかっています。

財務課[下水道財務] ☎ 044-200-2887 FAX 044-200-0376